

お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.175 令和4年2月1日



12月定例会から	2
ここが聞きたい！ 一般質問12人の議員が登壇	6
委員会からの活動報告	13
聞いてきましたまちの声(表紙関連インタビュー) 「八女矢(相良矢工房)」.....	16

た
矯め直し作業 (微調整) の風景

12月定例会

12月定例会は、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催しました。

市長から一般会計・各特別会計の補正予算案、条例改正案、工事請負契約締結案、人事案などが提案され、いずれも原案どおり可決・同意しました。

(委員会審査4～5ページ/賛否表14～15ページ)



新庁舎建設へ 工事請負契約可決

八女市新庁舎建設 工事請負契約の締結について

新庁舎建設工事について契約するため、議会の議決を求めるもので、原案のとおり可決しました。
市の将来に向けて充実した市民サービスの提供と安全安心のための防災拠点施設の整備等を目的として、令和7年2月の工事完了を予定しています。

【契約の内容】

- 本庁舎棟新築工事
- 附属棟新築工事
- 既存庁舎等解体工事
- 外構工事
- 電気設備及び機械設備等工事

【契約金額】

56億3327万4900円

【契約の相手方】

東急・イノウエハウジング特定建設
工事共同企業体

反対討論(要旨)

新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が県内でも確認され、まだまだ予断をゆるさない状況だと思われる。一方で、経済の専門家は、コロナの影響で富裕、貧困の二極化に直面しているとの見解を出している。コロナ禍による影響や貧困のため、立場の弱い女性や子どもたちを中心に深刻な事態が進行している気がしてならない。コロナ対策に万全を尽くすべきで、庁舎建設予算の凍結解除は早すぎることを懸念する。

森 茂生

コロナ支援策など補正予算可決

補正予算の主な事業

一般会計総額37億1280万円の補正予算は、全員賛成で可決、成立しました。補正予算には、18歳以下の子どもがいる世帯や住民税非課税世帯などの生活に困窮している世帯に現金10万円を給付する費用、新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種の費用、コロナ禍で売り上げが減少した市内農家に支給する農業生産支援金の対象品目に茶を追加するための費用が計上され、災害復旧費21億3904万8千円を含む災害復旧関連事業費も盛り込まれました。

18歳以下への給付金 現金10万円を一括給付

補正予算第9号・第10号 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 8億9941万円

3回目ワクチン追加接種へ



補正予算第7号

新型コロナウイルスワクチン追加接種事業（3回目接種事業）

1億6291万円

医療機関新型コロナウイルスワクチン住民接種追加協力金 520万円

農業生産支援金 対象品目に「茶」を追加

補正予算第8号 新型コロナウイルス感染症対応農業生産支援金交付事業 1752万円

人事案件

固定資産評価 審査委員会委員

次の方を選任することに
同意しました。

まつお つとむ
松尾 努 氏

知的障害者が安心して暮らさせる入所施設の新設を求める政府への意見書提出についての請願
請願者…八木トミエ
紹介議員…大坪久美子
制度の内容等を慎重に調査研究するため、閉会中の継続審査になりました。

尖閣諸島をはじめ領土・領海などを守る法整備などに関する意見書案の提出を求める請願
請願者…近藤将勝ほか13人
紹介議員…牛島孝之
継続審査を求める動議

尖閣諸島をはじめ領土・領海などを守る法整備などに関する意見書
【要旨】 国に対し、領土・領海・主権侵害の問題について、関係国との外交交渉はもろろんのこと、領海警備など法整備を行い、国民に教育・啓発を行うよう求めるもの。

尖閣諸島をはじめ領土・領海などを守る法整備などに関する意見書
【要旨】 国に対し、領土・領海・主権侵害の問題について、関係国との外交交渉はもろろんのこと、領海警備など法整備を行い、国民に教育・啓発を行うよう求めるもの。

請願・意見書

審査の主なもの

○令和3年度八女市一般会計補正予算(第8号) 【全会一致で可決】

- ・民生費(自立支援給付費)……………3億5786万円
- ・民生費(地域生活支援事業費)……………31万円
- ・衛生費(塵芥処理費)……………1383万円

審査の主なもの

○令和3年度八女市一般会計補正予算(第8号) 【全会一致で可決】

- ・総務費寄附金(ふるさと支援寄附金)……………3億円
- ・教育費寄附金(教育費寄附金)……………100万円

ふるさと支援寄付金について



問 ふるさと支援寄付金の直近の合計額は。

答 令和3年11月末の見込み額で、約5億1千万円の寄付を頂いている。

問 補正額の寄付金の見込みがあるということなのか。

答 年間を通じて11月と12月に多くの寄付を頂いており、12月に3億円、1月から3月に各月3千万円ずつを見込んでいます。

問 返礼率3割以内は、徹底しているのか。

答 返礼品は、寄付額の3割以下と国から基準が示されており、しっかりと守っている。

問 教育寄付金について

答 教育寄付金はどこから頂いたのか。株式会社ヤヒメ教材である。

問 購入する図書はどのように決めるのか。

答 各学校で希望を取りまとめて選書し購入される予定である。



コロナ禍でオンライン手話通訳へ

問 遠隔による手話通訳の方法は。

答 聴覚障がい者の方にWiFi内蔵のタブレットを貸して病院や事務手続きをする場所に持参してもらい、福祉課の専任手話通訳者がパソコンからオンラインでズーム等のビデオ通話を使用し、直接顔を見ながら手話を使い通訳を行う。

問 貸出は何台を予定しているか。

答 タブレットの貸出は2台を予定している。

問 児童手当法の改正に伴う所得制限等の見直しについて

問 法改正による見直し内容についての説明を。

答 令和4年6月分から特例給付を受給する方の所得制限の見直しが行われる。収入の目安では、サラリーマン世帯の夫婦

と児童2人の4人家族の場合で、1200万円以上が児童手当の対象外となる。

また改正後は、多くの家庭で現況届の提出が不要となり、一部、児童と別居し監護している場合や離婚協議中の同居優先で認定されている場合、

父母の所得が逆転し受給者が変わる場合等の際に現況届等が必要となる。



同行しなくても手話通訳が可能に

議会の動き



11月

- 2日 議会だより編集委員会
議会運営委員会
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
市民アンケート調査委員会
- 5日 八女地区消防組合議会
- 10日 建設経済委員会
市民と議会の意見交換会(分野別)
- 15日 全国過疎地域連盟定期総会
- 17日 厚生常任委員会
- 18日 市民アンケート調査委員会
- 19日 八女中部衛生施設事務組合議会
- 25日 議会運営委員会
- 30日 令和3年第5回定例会(招集日)
全員協議会
八女地区消防組合議会

12月

- 6日 本会議(一般質問)~8日
- 9日 本会議(議案審議)
予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
- 13日 各常任委員会・分科会
- 16日 議会運営委員会
予算審査特別委員会全体会
市民アンケート調査委員会
- 17日 令和3年第5回定例会(最終日)
全員協議会
- 22日 公立八女総合病院企業団議会
- 23日 八女西部広域事務組合議会

1月

- 4日 議会だより編集委員会
全員協議会
市民アンケート調査委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 17日 議会運営委員会
- 19日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
- 21日 汚水処理対策特別委員会
令和4年第1回臨時会(招集日)
全員協議会
市民アンケート調査委員会

審査の主なもの

- 令和3年度八女市一般会計補正予算(第8号) 【全会一致で可決】
- ・農林水産業費(農業振興費).....3576万円
 - ・農林水産業費(農地費).....5000万円
 - ・災害復旧費(農林災害復旧費).....5億7104万円
 - ・災害復旧費(土木災害復旧費).....15億6800万円



コロナ禍の茶農家を支援

問 新型コロナウイルス感染症対策農業生産支援金について、175件の内容は。

答 全て茶生産者からの申請分である。

問 今回、新たに茶が対象品目に加わった理由はなにか。

答 県園芸品目生産緊急支援事業第2期の対象期間が4~6月であり、その間に影響を受けた品目が茶が指定されたため。

問 豪雨災害への対応は土地改良事業の内容は。

答 市内全域で125カ所の継ぎ足し補助申請分の事業補助金である。

問 農林災害復旧工事の箇所数と工事規模は。

答 工事請負費は、農災が61カ所、林災が6カ所規模の大きいものは農災、林災とも1カ所当たり3千万円の工事費となっている。

問 耐用年数を過ぎた農業機械が被害を受けた場合の再取得も補助対象になるのか。

答 今回は耐用年数を過ぎたものでも制限はない。同程度までは再取得や修繕が可能となっている。

問 公共災害は年度内に全て工事ができるのか。

答 全箇所、年度内発注を予定している。3月までに契約を目指す、一部未契約繰り越しが出る可能性がある。

問 豪雨災害での小規模土地改良事業の内容は。

答 今回は耐用年数を過ぎたものでも制限はない。同程度までは再取得や修繕が可能となっている。

問 公共災害は年度内に全て工事ができるのか。

答 全箇所、年度内発注を予定している。3月までに契約を目指す、一部未契約繰り越しが出る可能性がある。

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数の中で、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等ご覧ください。各議員の顔写真横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、その議員の議会録画映像をご覧いただけます。

(データ通信料は利用者負担となります。)

ここが聞きたい！ 一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
松崎 辰義	1 環境問題について 2 教育問題について	7
橋本 正敏	1 令和3年8月豪雨の復旧について 2 八女市消防団の運営について 3 農業を維持・継続させるための施策について	7
堤 康幸	1 防災・減災対策と被災後の応急復旧について	8
三角 真弓	1 子育て包括的支援について 2 ひきこもりへの具体的な取り組みは 3 動物との共生や殺処分ゼロに向けた対策について	8
萩尾 洋	1 学校教育について	9
栗原 吉平	1 持続可能な地域公共交通体制について 2 黒木斎場の建て替えについて	9
森 茂生	1 新庁舎建設について 2 不登校対策について	10
川口 堅志	1 令和3年8月豪雨災害復旧事業について	10
高山 正信	1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2 人・農地プランについて 3 空き家・空き地対策について	11
高橋 信広	1 観光戦略について 2 地域コミュニティについて	11
田中 栄一	1 テレビ共聴施設について	12
牛島 孝之	1 男女共同参画推進系の業務について 2 交通弱者、買い物弱者について、八女市の考えは 3 八女市の教育問題について	12



映像配信
サイト



中学校の制服はなぜ統一されるのか

課長 出発点は性の多様化に今の制服では対応できない

不登校について
議員 国立教育政策研究所は「中1ギャップ」の語を、「問題行動等調査」の結果を見ると、小6から中1でいじめや不登校の数が急増するように見えることから使われ始め、今では小中学校の間の接続問題全般に「便利に」用いられている。とりわけ、その語感から中1になると突然何かが起きるかのようなイメージや、学校制度の違いという外的要因が種々の問題の主要原因であるかのようなイメージを抱くと、問題の本質や所在を見誤り、間違った対応をしかねないと伝えている。これを踏まえて、小中学校と義務教育学校の不登校の違いをどう捉えているのか。

課長 小学校は基本学級担任制で部活はない。中学校は教科担任制で部活が始まり、定期考査など生活が一変する。小6から中1になった途端、生活スタイルが変わる。そういう意味で中1ギャップを捉えている。義務教育学校では小学校高学年から教科担任制や定期考査の試行するなど、徐々に移行することができると考えている。



勉強する子どもたち

令和3年8月豪雨の被害把握と復旧の目途は立っているか

市長 地区ごとに把握。災害査定申請し早期着工・完成に努める

議員 今年も山下地区が浸水した。昨年の答弁で大倉谷川からの放水路完成で浸水が防げるはずだが何故浸水したのか。今後の対策は、どうなっているか。

室長 放水路が一部未完成であった。現在検証中である。10月に県から北山地区区長会に説明会を実施し、12月に緊急対応策が示された。今後、地元説明会を行い早急な対応を要望していく。

課長 団員が各家庭を訪ねて確認している。団員数は適正か。

議員 今年も山下地区が浸水した。昨年の答弁で大倉谷川からの放水路完成で浸水が防げるはずだが何故浸水したのか。今後の対策は、どうなっているか。

議員 団員の年報酬額を調べて研究していく。

議員 今後地域の協力も考えている。定員の最適化に向けて研究していく。

市長 他の自治体・国の考えを踏まえ研究する。

議員 農業を維持・継続させるための施策について

議員 特定地域づくり事業協同組合の導入は。

課長 八女市には当てはまらない。

議員 農繁期の雇用確保の対策は。

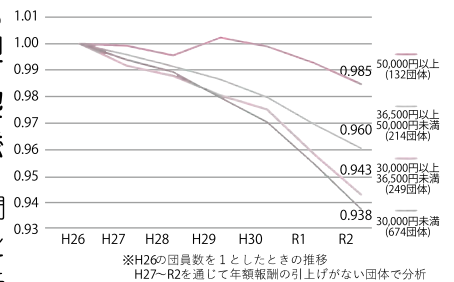
課長 シルバー人材センターや民間の農業ヘルパー、派遣会社など調査検討を進めている。



映像配信
サイト



年額報酬額別の団員数の推移



出典：「消防団員の処遇等に関する検討会最終報告書」(消防庁)
https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-86.html



映像配信
サイト



災害時の応急復旧の進め方の現状と今後の対応についての考えは

市長 第一、第二整備室に施設管理班を配置し応急作業に対応している

議長 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わ

議長 高齢化の進行で道路愛護の防災・減災効果が低下している。このため地域でできない作業を市で行うよう各支所に予算措置されているが、予算執行の状況は。

議長 高年齢の進行で道路愛護の防災・減災効果が低下している。このため地域でできない作業を市で行うよう各支所に予算措置されているが、予算執行の状況は。

議長 高年齢の進行で道路愛護の防災・減災効果が低下している。このため地域でできない作業を市で行うよう各支所に予算措置されているが、予算執行の状況は。

議長 高年齢の進行で道路愛護の防災・減災効果が低下している。このため地域でできない作業を市で行うよう各支所に予算措置されているが、予算執行の状況は。



陰切りが必要な市道（黒木町）

議長 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わり維持し対応していく。

議長 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わり維持し対応していく。

議長 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わり維持し対応していく。

議長 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わり維持し対応していく。

議長 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わり維持し対応していく。

いじめ・不登校・ひきこもり対策は、妊娠期からの切れ目ない支援が重要

市長 ハイリスク妊婦や出産後の養育環境を含め多岐にわたり取り組む

教育長 不登校は家庭環境

議長 不登校は家庭環境

議長 不登校は家庭環境

議長 不登校は家庭環境

議長 不登校は家庭環境



映像配信
サイト



殺処分ゼロ

殺処分ゼロと動物との共生

猫の繁殖力は非常に強く地域のトラブルの原因。支援団体が捕獲した猫に無償で去勢手術をするための要書提出、猫を保護し譲渡する場の提供、補助制度の提供、

議長 ひきこもりとは、その人の生活に表れた「状態」であり、国の実態調査の結果、その生きづらさの理由では、「自己否定感」が75%もある。本市の具体的対策は。

議長 ひきこもりとは、その人の生活に表れた「状態」であり、国の実態調査の結果、その生きづらさの理由では、「自己否定感」が75%もある。本市の具体的対策は。

議長 ひきこもりとは、その人の生活に表れた「状態」であり、国の実態調査の結果、その生きづらさの理由では、「自己否定感」が75%もある。本市の具体的対策は。

議長 ひきこもりとは、その人の生活に表れた「状態」であり、国の実態調査の結果、その生きづらさの理由では、「自己否定感」が75%もある。本市の具体的対策は。



映像配信
サイト



学校の校則・心構え、多くの決まり事を生徒、保護者に周知徹底できているのか

課長 生徒・保護者の全てが理解しているか確認はできていない



議員 校則（学校生活規定）と心構えとはちよつと違うのではないか。あの小学校では、自分がされて嫌なことは人にしない、言わない、とたった一つの約束があるそうだが、約束を破ったらやり直しが効く、校則を破ったら罰せられる、それが現状ではないか。

議員 生徒にとつては、何かがあればと来い”と生徒の気持ちを受けないのでは全然違うと思うが。

課長 先生達が、生徒の心をどう受け止めていくか、どう返していくのか、そういう研修も組んでいる。個々の子どもたちの様子について検討するケース会議にもスクールカウンセラーやソーシャルワーカーにお願いして、児童生徒の理解、対処法について指導を仰いでいる。

課長 校則の運用等については、児童生徒の内面的な自覚、そして内省を促して自分の事として捉え、自主的に守るよう指導していくことが基本。

議員 校則について、保護者の方々が全て理解されているか確認はしていないとのことだが、やはり保護者の協力が必要ではないか。

課長 言われる通り、保護者の方の協力が必要ではないか。

校長の裁量・力量が問われるのかな

ふるさとタクシー、路線バスの地域公共交通体制の今後の方向性は



映像配信
サイト



市長 市民の通院、買い物支援など日常を支えていく

公共交通について

議員 ふるさとタクシー

エリア外への移動の検討と路線バスの利用促進は。

副市長 不便な面が出てきている部分も聞いています。来年度見直し時期である八女市地域公共交通網形成計画の新たな計画策定に向け、しっかりと議論し取り組んでいきたい。

議員 特に山間部は移動に欠かせない自動車が必要だが免許返納と安全講習はどうされているのか。

課長 自主返納でタクシー共通回数券の交付を、安全運転のためドライビングスクールや自動車運転支援装置の普及を実施している。



八女市斎場基本計画

議員 黒木斎場の建て替えはどうなっているのか。

課長 統廃合を踏まえた規模の施設を検討したい。

議員 計画があるのに全く説明されていない。特に上陽、星野、矢部の地域住民は施設が統合されるといろいろ問題があるが、基本設計より住民説明が先ではないのか。

課長 今年度基本設計の中で事業規模を積算した後、住民説明会を実施したいと考えている。

住む地域がよくなるが、不便な地域はわかるか

森 茂 生



映像配信
サイト



新庁舎建設予算の凍結解除は早過ぎではないのか

市長 1日も早く完成させ、次の世代に譲り渡していく

不登校対策について
議員 不登校は、小学校が41名、中学校が74名と全国平均より非常に高いのでは。
課長 不登校の数が大変多い。きちんと取り組む。小規模特認校導入の考えは
議員 特認校制度は、校区外からも子どもを募集することにより、複式学級を解消する手だてとして導入されてきた。導入した学校は、小規模校のため、先生の目が行き届き、子ども達のストレスも少ないため、不登校だった子ども達が、学校に通えるようになる事例が全国的に出てきた。そ



のため、この制度が不登校対策になると認識されるようになった。八女市にも小規模特認校を設け不登校対策に活用したらどうか。

教育長 小規模校が悪い、大規模校がいいということとはない。それぞれにメリット、デメリットがある。

児童50人、不登校の先生は成績がよい、先成はトップクラス。こんな学校があるんですね。

川 口 堅 志



映像配信
サイト



令和3年8月豪雨の被害査定のスケジュールはどうなっているか

市長 10月26日から始まり12月10日に終了予定である

議員 被害査定の金額はどれくらいか。
室長 公共土木が14億6600万円、農地・農業用施設が3億3200万円となっている。
議員 国・県・市の管轄は当然公費で実施されるが、個人所有の用水路を災害復旧に認定できる場合もあるのか。
室長 農業用の水路などは、農薬用施設については、国土調査後の公図に水路の筆がある事、併せて受益者2戸以上という要件がある。個人所有の水路は、公図に水路の筆がなく、受益者1戸では採択



令和3年8月豪雨災害
個人所有の茶畑とそこに通じる農道被害箇所

に合わない。そこで市では小規模土地改良事業補助等に対応できるか把握して、市民の相談に対応している。
議員 個人所有の農道についての補助金等あるのか。
室長 農道についても個人所有の水路と同様の考えである。
議員 災害査定にできない被害はあるか。
室長 家庭菜園や研修・研究目的の農地などは対象とならない。災害復旧については、市民の相談の対応に努めているところである。

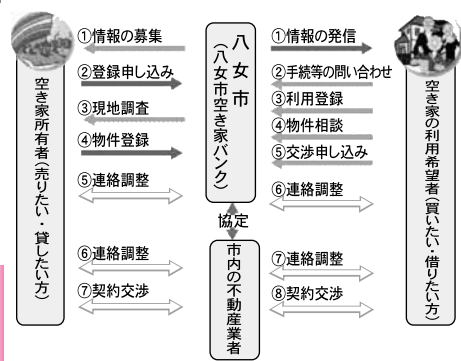


映像配信
サイト



空き家を改修して、就農体験などで 拠点となる建物を確保できないか

市長 移住の問題は重要な課題。前向きに検討していきたい



空き家バンク制度

議員 今後、空き家が老朽危険家屋になると危惧しているが、何らかの対応が必要では。

課長 空き家バンク制度の周知や広報に力を入れていきたい。

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

議員 人口減少克服や地域創生の推進のために、委員会などを設置して、各課横断的な検証が必要ではないか。

課長 全庁的な連携という観点から、総合戦略の検証、推進をどういった体制で取り組めばいいか研究していきたい。

議員 新たに取り組む事業、強化される事業は。

課長 新規就農を含む担い手の育成、機械の導入などの生産条件の整備を重点的に進めている。

課長 荒廃森林整備、担い手対策などの支援も継続的に進めることはもとより、新たに森林経営管理法に基づく制度事業を実施するための計画準備を進めている。この制度を活用し、施業管理を行える森林については、自伐型林業者などにも経営管理が任せられるような事業のシステムを構築していきたいと考えている。

委員 今後の取り組みについて



映像配信
サイト



新しいべんがら村の役割を どのように考えているのか

課長 観光案内スペースを設け観光の核となる施設にしたい



福岡都市圏からの誘客の役割も担う八女本舗

※八女フィルムコミッション：八女市に映画やCMの撮影等を誘致するために設置した組織

議員 観光協会が統合されたが、今後の展開をどのように考えているのか。

課長 観光協会では、八女フィルムコミッションの事業に取り組む等、統合によるスケールメリットを生かしたい。

議員 べんがら村は今後の目標を踏まえて、どのような展開にするのか。

課長 ここを拠点に奥八女に誘導させる大きな機能を持たせる。また、新設の八女テラスを活用して誘客を図るなど、市民とともに観光客の増大を図り、将来的には利用者77万人を目標としている。

議員 新たな八女本舗はどのように変わるのか。

課長 酒類の販売が可能となり、客単価アップが見込める。情報発信を強化するため日曜日も開店する。

行政の在り方とは？

議員 行政区の統合を推進する大きな理由は、

課長 将来を見据えて持続可能な行政区運営を維持するために検討が必要と考える。

議員 行政区の在り方についてその後の見解は。

市長 地域の絆が最も大切で、お互いが助け合う時代にあり、そのことを十分踏まえて考えていく。

中山間地のTV受信共聴施設の改修工事等に、市から補助はできないか

市長 自主運営経過や他の住民との負担の公平性の考慮が必要



田中栄一

映像配信
サイト



デジタルTV中継局の電波が受信できないところはTV受信共聴施設が必要

出典：総務省ホームページ
(<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/housou/catv/kaishuu/aremot.html>)

※光ケーブル網
八女市には光ケーブルが張り巡らされ、インターネット接続などに利用されている。

議員 市内のTV共聴施設の実態はどうか。
市長 市内には79施設が設置され、維持管理は利用者による組合組織が行っている。
議員 負担金など共聴施設以外の住民との不公平感を強く感じる。実態調査の施設数や個人負担をどう受け止められたか。
副市長 自分たちで自主運営されているのは非常にありがたい。
議員 光ケーブル網を利用したケーブルテレビネットワークを研究する考えはないか。
副市長 費用対効果が大きな問題であり、そこま

での考えはまだ持っていない。
議員 補修や自然災害、光化改修への国、県の補助制度はあるか。
市長 国、県からの支援制度はない。
議員 他の住民との負担の公平性を考えるなら、改修等に補助すべきではないか。
市長 今後の課題として念頭に置いておきたい。

中山間地は居住不
利地域。市内全域
に太陽の光と暖か
さが届く政策を。

交通弱者、買物弱者対策について八女市の考えは

市長 今後の状況を注視していく必要がある



牛島孝之

映像配信
サイト



議員 矢部支所、星野支所の庁舎の中にコンビニを入れることはできないか。
課長 その辺は一つの案としては考えられると思うが、慎重な進め方が必要になってくると思う。
八女市の教育問題について
議員 将来の八女市の公立小中学校の再編について、どのように考えているのか。
課長 将来の学校の再編等については基本計画、基本構想にのっとり、進めていく。
議員 校舎建設に合併推進債は使えるのか。
課長 教育施設への環境整備等に係る財源については、制度上は合併推進債の対象となりえる。

議員 義務教育学校の推進というのは、文部科学省からの指導なのか、県の教育長からの指導なのか、あるいは、市教育委員会からの指示なのか。
課長 国や県からの指示はないし、教育委員会からも言うことはできない。協議会の中で、多くの方々から義務教育学校という意見があるということは何っている。

市内循環バス利用状況

多世代交流館現状を調査

〈厚生常任委員会〉

10月20日・11月17日

厚生常任委員会では、「市内循環バス」の利用状況（10月20日）及び多世代交流館「共生の森」の現状調査（11月17日）を実施しました。

市内循環バスに試乗



交通弱者・買い物弱者の利便性向上のため、福島バス停を起点に東・西ルートの2路線で実証運行されている市内循環バスについて、利用状況などを調査するため委員会です。試乗しました。福島の利用者は福島バス停から柳病院前まで1人の方が往復利用されたのみで、以外の利用者は無く実効性に乏しいものと記しました。

東・西ルートそれぞれ

記します。

以下、委員の意見を列



利用者の期待に
応えられるか

・全ての停留所が目的場所のため、住まい近郊を起点にした循環を検討する必要がある。
・循環バス停以外でも乗降できるシステム

を。

・周辺部にこそ買い物弱者がいる。循環バス停までが問題である。
・今の状況では必要性が感じられない。

・路線バスや予約型乗合タクシーとの連携強化による体制が必要。

・バス停から500m以上離れた交通空白地を乗合タクシーなどで補うなどの連携強化が必要。
・運行表がバス停表記のみで分かりにくい。ルート地図があれば分かりやすいのでは。

調査を終えて

交通弱者・買い物弱者のためにも実証運行が本格運行になることを期待する。そのためにも市民への周知と利用呼びかけを徹底するとともに、もっと利便性が高まるよう研究を進めていただきたい。

（田中 栄一）

利用減の「共生の森」

新たな役割研究を

多世代交流館「共生の森」は、前老人福祉センターを改修し、高齢者の健康増進と市民相互の世代間交流を通じた融和を推進するとともに、介護予防等保健福祉の増進に寄与するために平成13年5月に供用開始した施設です。

館長並びに3名の職員で運営され、施設管理や清掃等はシルバー人材センターに、専門的な施設維持は別途業者に委託されています。

入館者数は、平成25年度の4万1485人をピークに令和2年度は1万1455人まで減少していますが、その要因は、平成26年6月にオープンした「やめっこ未来館」により「共生の森」を利用していた子どもの利用減少、マイクローバス送迎の取り止め、新型コロナウイルス感染症拡大予防による事業の自粛などが考えられるとのことでした。

今後の存続を考えると多世代交流館としての「やめっこ未来館」との関わりや高齢者福祉事業の在り方等、方向性を明確化していく必要がある。

調査を終えて

また、暑さ対策のため大広間や多目的ホールの空調設備の見直しも必要であると感じた。

新たな役割を

開館から20年を経過し、風呂場（日常利用者20〜30人）など設備の劣化が進んでおり補修の必要性が発生しているとの

（田中 栄一）



道路改良工事2件と 令和3年8月豪雨被害調査

〈建設経済常任委員会〉

11月10日

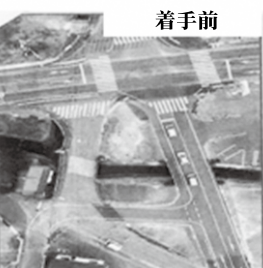
◆吉田交差点 改良工事
八女市工事

西側…
令和3年度完了予定
東側…
令和4年度完了予定

国交省工事

横断ボックス工事…
令和4年度完了予定
交差点拡幅工事…
令和5年度完了予定

検査終了後、供用開始
予定であるとの説明を受
けた。



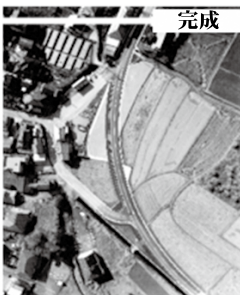
着手前



R3.11現在

◆市道 高塚馬場線 改良工事

令和3年12月完了
供用開始



完成



着手前

◆令和3年8月豪雨災害
現場調査

①白木谷地区災害関連緊急
地すべり対策事業
(立花支所管内)

②市道星野石割岳黒木線
災害復旧事業

令和3年8月豪雨 被害状況

令和3年11月8日現在			
	補助災	単独災	応急工事
公災	57件	191件	188件
農災	61件	10件	5件
林災	6件	6件	56件
その他	0件	1件	0件
計	124件	208件	249件

総被害件数 581件
総被害金額 30億3180万円

③林道星野線災害復旧事業
(星野支所管内)

※地すべり対策事業は、
福岡県対応

調査を終えて

八女市では3年続けて
豪雨被害を受け多くの方
々が被災されています。
しかし、災害復旧に促
事されている方々の尽力
により令和元年・2年災
については令和3年度で
復旧の目途が付くよう
です。令和3年災につ
いては災害査定終了後、早
期復旧に取り組んでいく
との説明を受けました。
今後の早期着工と完成
に期待します。

(青木 勉)

12月定例会の採決結果 (令和3年第5回定例会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第54号	八女市過疎地域自立促進特別措置法に基づく市税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明：過疎地域の支援に関する特別措置法の施行に伴い改正するもの	可決(全会)
議案第55号	八女市社会福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について 説明：ひまわり園の全面的改修により定員を20世帯から10世帯に変更するもの	可決(全会)
議案第56号	八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明：国の基準が改正されたことに伴い必要な条例の一部を改正するもの	可決(全会)
議案第57号	八女市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 説明：国が産科医療補償制度を見直し、掛金を1万6千円から1万2千円に引き下げることを受け改正するもの	可決(全会)
議案第58号	八女市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について 説明：勤労青少年ホームの体育施設への用途変更に伴い、八女市総合体育館と一体的に有効活用を図るための改正	可決(全会)
議案第59号	字の区域の変更について 説明：星野地区のほ場整備事業の換地処分に当たり、この区域の字を変更するもの	可決(全会)
議案第60号	市道路線の変更について 説明：一般県道岩野黒木線橋梁架替事業に伴い、市道路線の起点・終点位置及び延長等を変更するもの	可決(全会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第61号	指定管理者の指定について(八女市黒木地域交流センター「ふじの里」)	可決(全会)
議案第62号	令和3年度八女市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会)
議案第63号	令和3年度八女市一般会計補正予算(第8号)	可決(全会)
議案第64号	令和3年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決(全会)
議案第65号	令和3年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決(全会)
議案第66号	令和3年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会)
議案第67号	令和3年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決(全会)
議案第68号	令和3年度八女市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会)
議案第69号	令和3年度八女市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会)
議案第70号	令和3年度八女市一般会計補正予算(第9号)	可決(全会)
議案第71号	工事請負契約の締結について(八女市新庁舎建設工事)	可決(多数)
議案第72号	令和3年度八女市一般会計補正予算(第10号)	可決(全会)
議案第73号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 《松尾 努》	同意(全会)
請願第7号	知的障害者が安心して暮らせる入所施設の新設を求める政府への意見書提出についての請願	継続審査
動議	請願第8号尖閣諸島をはじめ領土・領海などを守る法整備などに関する意見書案の提出を求める請願の継続審査について	否決(少数)
請願第8号	尖閣諸島をはじめ領土・領海などを守る法整備などに関する意見書案の提出を求める請願	採択(多数)
委員会提出議案第8号	尖閣諸島をはじめ領土・領海などを守る法整備などに関する意見書	可決(多数)

は賛否が分かれた議案です

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22
	中島	高山	青木	川口	橋本	田中	堤	高橋	牛島	萩尾	服部	大坪久美子	寺尾	栗原	三角	森	栗山	川口	松崎	角田
	信二	正信	勉	堅志	正敏	栄一	康幸	信広	孝之	洋	良一	美子	高良	吉平	真弓	茂生	徹雄	誠二	辰義	恵一
議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	—
動議	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	退席	●	○	欠	—
請願第8号	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	●	欠	—
委員会提出議案第8号	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	●	欠	—

(9と19は現在欠番)

報告(報告事項のため採決はありません)

報告第15号	専決処分について(事故による損害賠償)
--------	---------------------



聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL. 8

相良矢工房 代表 ^{さがら}相良 ^{ひろし}弘氏

八女市本町で相良矢工房を営む相良代表を訪ねてお話をお聞きしました。今年10月に第1期「矢作教室」をスタートし、羽根割、羽根付け等伝統の技をひとつひとつ丁寧に教えて、美しい八女矢の作り方を伝える活動に着手されました。伝統技術を伝承していく姿勢には、八女矢に対する強い思いと使命感を抱かされました。

八女矢の歴史についてお聞かせください。

八女矢は、1752年有馬藩お抱えとなった矢師が、豊富な矢竹に恵まれている八女市に居を構えたことに始まったようです。最盛期は、全国生産量の30%を占め日本一を誇っていました。

また、私の相良家系図によりますと、1758年肥後・人吉の相良藩から立花藩のお抱えとなり、やがて八女の地に移ったようです。

八女矢制作における特徴など教えてください。

調達した矢竹は同じ太さ、重さにしますが、曲がり無くし真つすぐにする「荒矯め^{あらだめ}」という工程は特に技術を要します。矢羽はタカやワシが最高級ですが、現在は捕獲禁止のため保存しているものを大切に使用しています。近年は、七面鳥、水鳥、孔雀等の羽根が使われています。八女矢の工程全てが手作業で、伝統の技法と経験で作ることが特徴です。

事業について現状と目標をお聞かせください。

販路策として、インターネット販売に手掛けています。また、縁起物、装飾品として飾り矢のバリエーションを増やしています。

ヨーロッパでは弓道を見直して武道の一環として捉えていますし、中国にも少しずつ浸透しています。このような状況から、海外進出を目標に取り組みたいと考えています。

市議会にメッセージをお願いします。

子どもを育てやすい環境を更に整備してもらうことが一番の願いです。例えば、子どもたちを対象にしたイベントを企画する等、思い出をたくさん作っていただければと思います。



議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

2月22日(火)予定
立花庁舎議場 午前10時から
八女市議会事務局 23-4922



スマートフォンやタブレット端末で
議会中継を見ることができます

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>
インターネットから「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック！

編集後記

「コロナ感染症により、私達の生活は一変し、混乱は二年以上に及び予算編成も大きく様変わりした。他国に比べれば、日本の感染者は抑えられている。

多くの人は利己と利他の両方を考えて、窮屈に耐えながらマスクをつけている。感染収束のカギは利他心である。

大坪 久美子

発行責任者	議長	角田 恵一
議会だより編集委員会	委員長	高橋 信広
副委員長	大坪久美子	
委員	松崎 辰義	
委員	栗原 吉平	
委員	牛島 孝之	
委員	堤 康幸	
委員	田中 栄一	
委員	川口 正信	
委員	高山 正信	

